満を持しての太陽光発電設置
現在進行中の我が家の場合

2019.9.29

「うちの太陽光発電これから」

なぜ太陽光発電か？ 理念論

＊2011年福島第1原発事故の教訓

→人が制御できない原発は誰にも責任が負えない。

→原発に替わるできるだけ安全で地球に負荷をかけないエネルギーにシフトすべき。

→自分の手や目が届く距離で作られた食べものやエネルギーを消費したい。できるだけ地産地消に。

＊個人ができることの一つとして、自宅屋根への太陽光発電の設置がある。

なぜ太陽光発電か？　現実論

＊有限な収奪サイクル（化石燃料）よりも無限の再生サイクル（自然エネルギー）によってエネルギーを得る方が合理的。

＊地震や台風などの災害時に自立したエネルギー設備を持っていたい。

＊長期的に見て家計の負担を軽くする設備。

自然エネルギーのなかで、上記の条件を満たすものは太陽光発電。

なぜ太陽光発電か？　そこに屋根が

＊最適な屋根があった。

・南向きに緩く傾斜

・片流れ屋根

・ガリバリウム葺き

・日当たり良し

2013年9月築

太陽光発電導入に当たって
我が家でのやりとり

家族からの問い

・太陽光発電は良いことばかりではないことも認識すべき。将来の廃棄についても見通しが必要ではないか。

１．太陽光発電システムを廃棄する際にパネルの処理法が確立しているのか。

２．廃棄にかかる費用はどのぐらいみておけばいいのか。

問いに対してこんな答え

・使われなくなった太陽光パネルはまだ使えるものが多く、現在も中古パネルのリユース、老朽パネルのリサイクルは既に行われ、技術は蓄積されている。

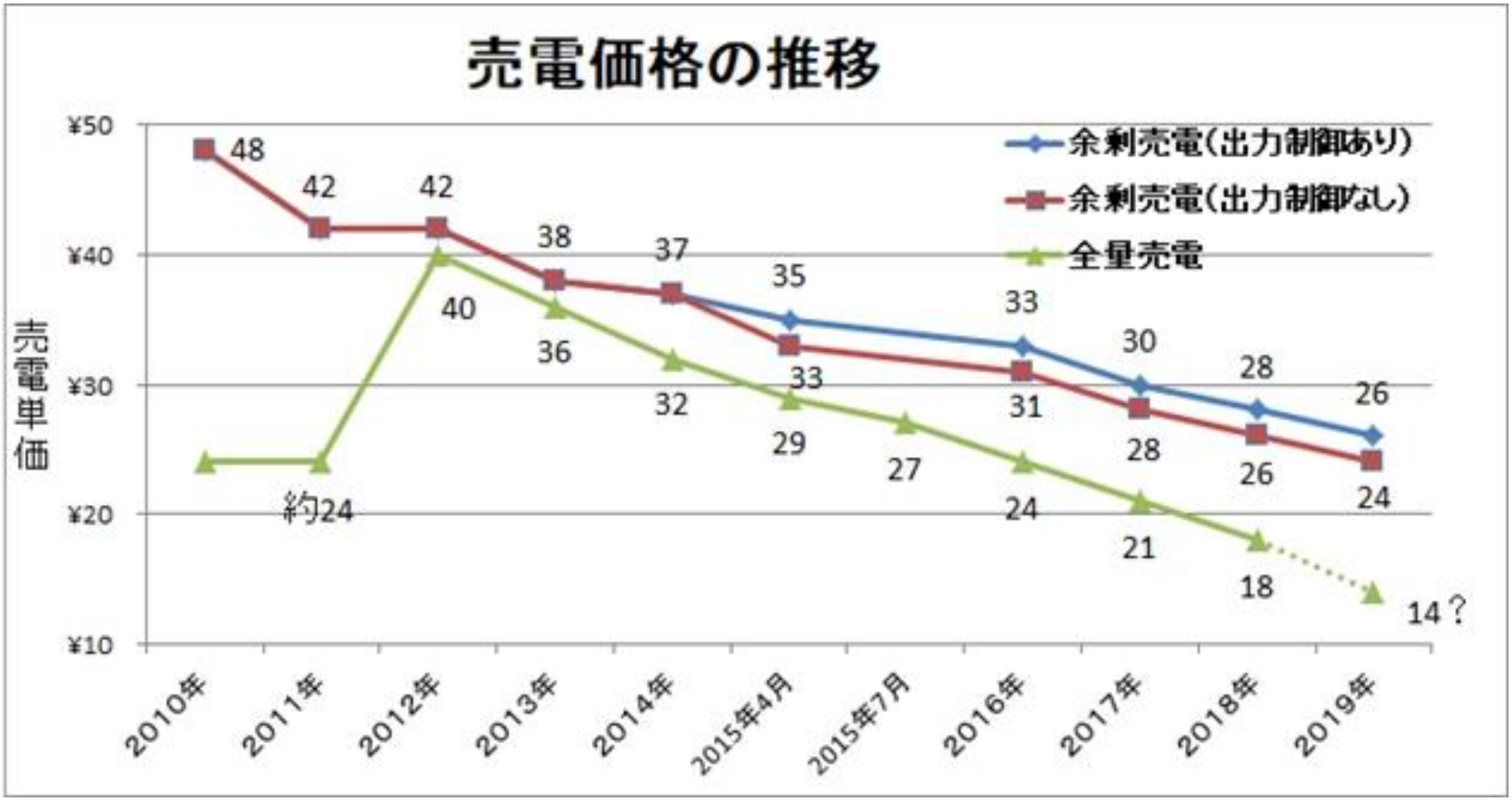
１．有害物質を含むパネルがあるが公開しないメーカーがある。情報を開示させる働きかけをして適切に処理を。

２．廃棄費用は設置工事料＋α。

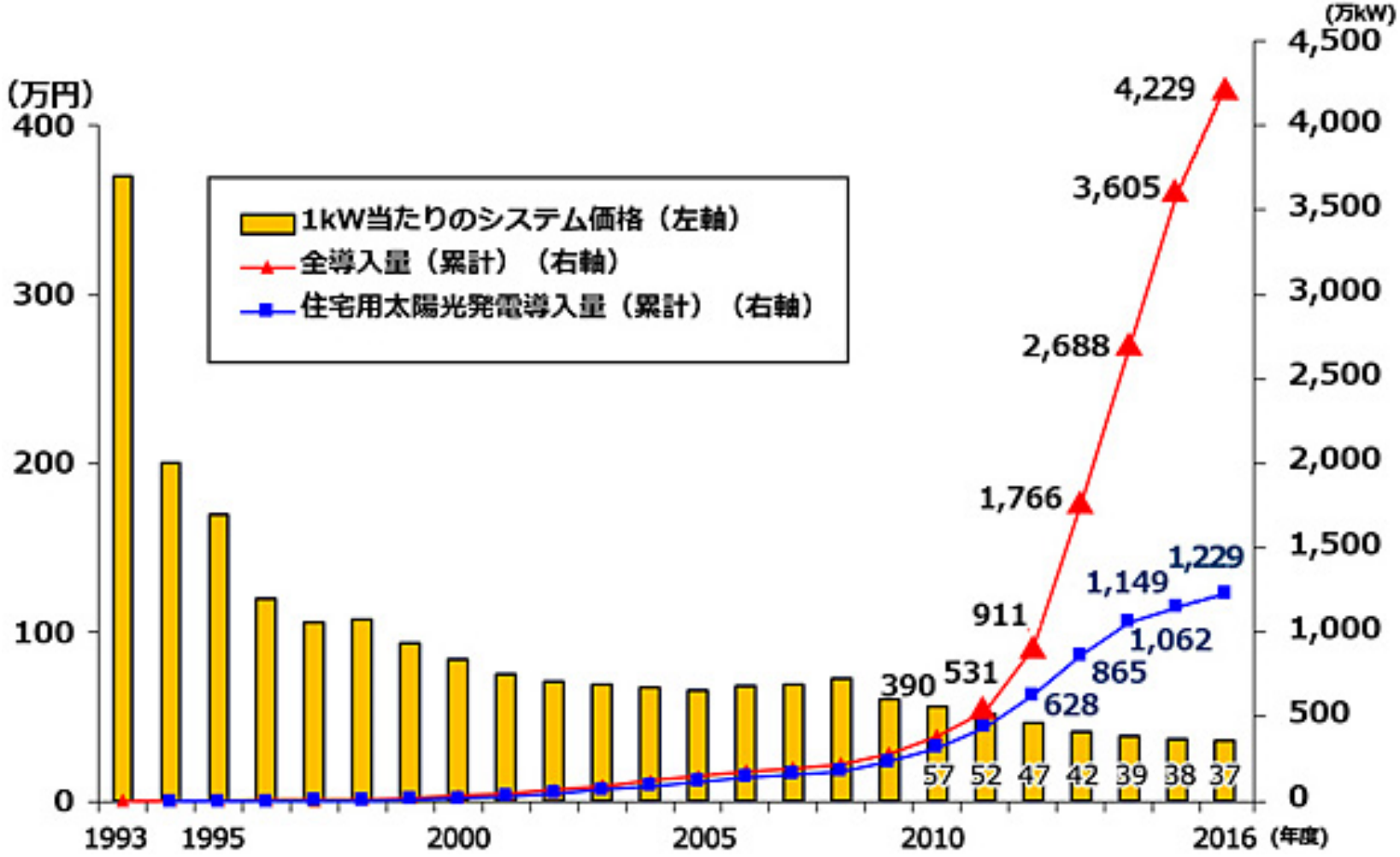
FITによる売電収入に廃棄費用が含まれているという考え方。

２５万～３０万円ぐらい。

売電価格は10年前の半値に



システム設置価格も値下がり



経済産業省 産業エネルギー庁

我が家は今がそのタイミング！

＊システム設置価格の値下がりと売電額の値下がりのバランスが良い加減ではないか。

→電気を買うよりも作る方が得な時代へ

電気を買う　29円～33円/ kWh（再エネ賦課金2.9円含む）

電気を作るコスト　25円/ kWh

電気を売る　24円/ kWh

＊神奈川県の太陽光発電設備の共同購入事業がスタート。比較的割安にシステム設置できる機会ではないか？

＊資金の準備が整いつつある。

神奈川県の太陽光発電設備の共同購入事業とは？

＊県の「スマートエネルギー計画」の3原則を進めるための政策。

1原発に過度に依存しない

2環境に配慮する

3地産地消を推進する

共同購入の仕組み→

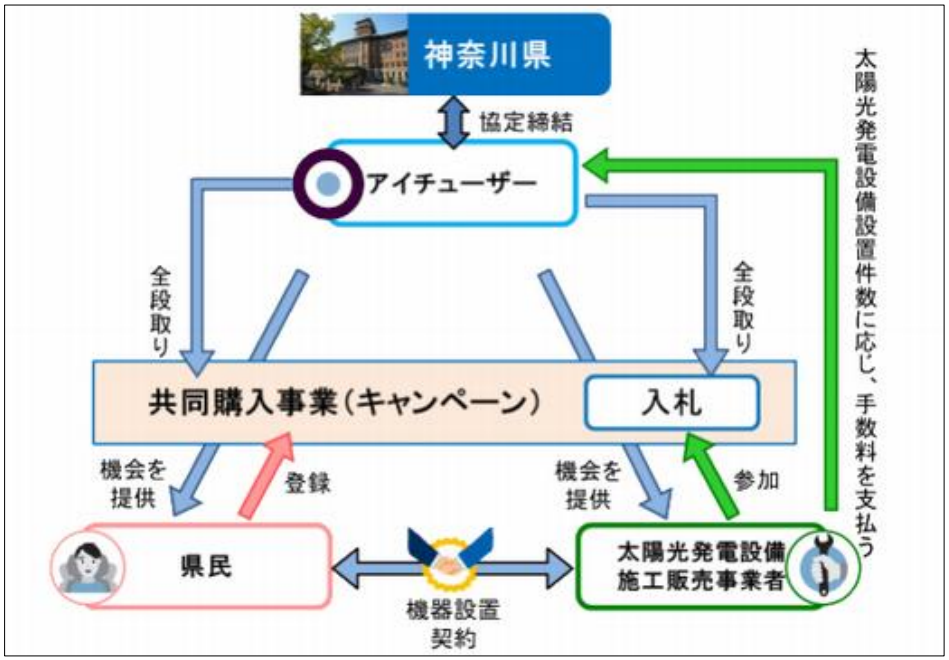
詳細は

「神奈川県みんなのおうちに太陽光」

で検索

今年は446世帯の応募

来年も募集の予定あり



見積もりプロセス進行中

・2019年6月　参加登録

　住所・氏名・屋根のサイズ情報を登録

・入札で選定された施工業者から「事前見積り」が届いた。指定のメーカー2社（東芝・ネクストエナジー）それぞれのパネルを使った場合の見積額が提示されている。

・8月初旬　説明会参加

・8月8日　購入の判断（申込金2万円支払い）

　→9月初旬　現地調査終了

・最終見積りを待っているところ

システム設置の我が家的検討課題

＊塩害の懸念とパワコンの屋外設置

ネクストエナジー　海岸から500m以内であることが設置条件。500～1000mの地域はパワコンは室内設置が条件。

東芝　　海岸から500m以内はパワコンの室内設置が条件。

＊発電容量をどのぐらいにするか？

我が家に適切な発電容量を決定するための要素は

1. 昼間の使用電力量（通年）をまかなえる容量
2. パワコン1台でおさまる容量

＊気候変動で過酷さを増す自然災害に対応する施工がどうやったら保障されるか？

今後の予定

＊最終見積りを見て
　→「検討課題」が解決されれば契約へ
　　10月下旬　売電の各種手続き
　　2020年３月までに施工完了
＊我が家は安い深夜電力を使ってレンガに熱を貯める蓄熱暖房機を使用しているため「買電」は東京電力と縁を切れないが、「売電」は自然再生エネルギーを歓迎してくれる会社と契約するつもり。